

## おしゃべりサロン「相互塾」 100回のあゆみ

2008年5月24日  
相互塾企画メンバー  
リーダー森下政信

今の私たちの生活のようすは、

- マイハウス、マイカー、マイメディア  
が生活に深く浸透してきている
- 閉ざされたところに、さらには、  
仮想の世界(映像の世界)に、安らぎを求める？
- 顔を合わせる付き合いが失われかけている？
- コミュニティも、ファミリーも失われかけている？
- 人が変わっていく

新しい居場所(対面の場)として「相互塾」を！

## 2000年3月に第1回開催

- 1997年1月:調布まちづくりの会発足
- 1998年10月:新生調布まちづくりの会発会式
- この約1年半後にスタート
- 2000年4月:特定非営利活動法人となる

なぜ、

おしゃべりサロン「相互塾」なのか？

## おしゃべりサロン「相互塾」とは？

- 「対話」をキーワードに3世代の交流をめざす
- 私たちの仲間のお話とそれを受けた井戸端会議  
(別名:寺子屋風井戸端会議)

そして、

- 社会の中に家族的な場をつくり
- ソーシャルファミリーへの発展をねがう

聞いて→感じて→考えて→話す→  
このサイクルから、“人の痛みを知る”

## おしゃべりサロン「相互塾」の状況

- 語り手(講師)は、ちょうど100人です  
延べ人数は、120人を超えます
- 参加者の延べ人数は、2700人です
- 8月は、特集として「平和」を  
2000年:私の戦争体験、2001年:僕の調布にも空襲があった、  
2002年:水耕栽培のルーツは調布にあった、  
2003年:日米友好の人形交流、2004年:シベリア、ジャワ島抑留体験  
2005年:特攻隊の一員となって、2006年:戦後引揚者の体験  
2007年:九死に一生を得た大空襲(東京大空襲)
- 10月は、同じく「教育を考える」を  
2006年:子どものかかえる問題、2007年:理科離れと教育

## 「相互塾」から生れてきたもの

- 調布不思議発見(2001年2月と2002年8月に写真展)  
2005年5月~ 約2年間、国領 はばたき にて作品11点展示
- 午後のティーサロン(2002年7月にスタート)  
現在までに28回開催、延べ参加者650名
- うたごえサロン(2003年3月にスタート)  
2004年10月、調布まちづくりの会より独立し、月2回開催、好評
- 数学おあそびサロン(2004年1月にスタート、中学高校生向け)  
⇒数援隊(数学支援隊)(2007年10月に生れる)  
2006年1月より、2つの中学校に応援しています。
- (調布市民放送局)(2005年8月にスタート)  
相互塾のメンバーが、多数、設立に参加

## 第101回以後の「相互塾」は、

- 敷居が高いという声に応じて、装いも新たに、
- 原則、毎月最終の土曜または日曜午後 開催
- 講演+音楽演奏+井戸端会議(家族会議?)
- 会場は、総合福祉センター203会議室
- 次回は、6月29日(日)午後2時~ です  
テーマは高野美也子さんの「人権擁護委員ってどんな人？」

その後、7月26日(土)、8月9日(土)(たづくり12階)、9月27日(土)、  
10月25日(土)、11月30日(日)、12月20日(土)、2009年1月24日(土)、  
2月28日(土)、3月29日(日)と続きます。

## おしゃべりコーナーをフレンドリーに



「相互塾」はオープンな場で、参加に制約はありません。  
「相互塾」から新しい動きが生れることを願っています。